

令和2年度 飯塚市児童センター等運営委員会議事録

1. 日 時 令和2年11月4日(水) 午後2時00分～午後3時00分
2. 場 所 飯塚市役所 6F 教育委員会会議室
3. 出席者(委員) 飯塚市立小中学校校長会 椋本小学校校長 山本 繁  
飯塚市民生委員児童委員協議会 理事 小池 千津子  
一般公募委員 萬田 友子  
一般公募委員 藤嶋 幸恵  
子育てオアシス 代表 藤江 文雄  
NPO 法人飯塚市青少年健全育成会連絡協議会 理事長 久保 満男  
飯塚市自治会連合会 理事 岩崎 鉄雄  
飯塚市小中学校PTA連合会 副会長 太田 春彦  
児童クラブ保護者代表 児童クラブ保護者会 橋本 正子  
飯塚市子ども会指導者連絡協議会 会長 氷室 敏幸  
(事務局) 二石部長  
学校教育課 山下課長、佐伯課長補佐、城谷指導主事、吉原、河野
4. 議 題  
(1) 児童センター(児童館)及び児童クラブの運営状況について  
(2) 児童クラブを中心とした放課後児童の支援ビジョンについて  
(3) 放課後児童クラブにおける新型コロナウイルス感染症拡大防止対策について  
(4) その他
5. 議事録

議案1 児童センター(児童館)及び児童クラブの運営状況について	
事務局	<p>・1～6 ページは、19か所の児童センター、児童館及び児童クラブの位置図及び活動内容についての紹介です。</p> <p>・7～8 ページは、各児童センター、児童館の前年度事業実績及び今年度の事業計画です。各児童館、児童センターにつきましては、三世代ふれあい会、外部ボランティアを招いての教室等を行っています。三世代ふれあい会では、保護者会の方、老人会、地区の青少健の方々をお招きし、児童クラブで取り組みを行っている朗唱など集団活動の場にもなっていますが、今年度は新型コロナウイルスの影響により、規模を縮小し、各クラブで工夫を凝らしたミニ発表会という形で随時開催しています。</p> <p>・9～10 ページは各児童館、センター等で行われている外部ボランティアを招いての前年度事業実績及び今年度の事業計画です。各児童館、センターで様々な教室が開催されていますが、主に生涯学習課の事業でありますボランティアネットワーク事業にご登録いただいているボランティアの方々にご協力いただき、手話、卓球、工作など各教室を実施している状況です。</p>

	<p>・11 ページは、児童センター、児童館の設置状況と前年度の利用状況です。児童センター、児童館の利用者は、市内居住の18歳未満の子どもはだれでも利用可能となっています。児童クラブ利用者は、就労等によりご家庭で子どもを見ることができない世帯で、児童クラブの入所手続きをしている小学生が対象となります。年間利用者数は、年間利用の延べ人数となっています。児童クラブについては、2,000人近くの児童が入所登録しており、延べ人数で年間、約45万人の利用実績となっています。</p> <p>・12 ページは、各児童センター、児童館及び児童クラブの実施に要する事業費について予算額、決算額です。</p> <p>・13 ページは、小学校児童数と児童クラブ入所児童数の比率です。全児童クラブを比較しますと小学1年生の比率が多く、学年が上がるにつれて入所児童が減っている傾向があります。また中段では、過去5年間の入所率の推移を示しており、全体的に増加の傾向にあります。</p> <p>・14 ページは、令和2年度の入所定員及び令和2年4月1日現在の入所児童数及び支援員数の状況です。支援員は、特別支援学級在籍の児童の支援の追加配置を含めた総数110名です。夏休み以降は、コロナの影響も加わり、4月1日で2,273名の児童の登録が、10月1日現在では、2,028名となっています。</p>
藤江会長	質問、意見はありますか。
萬田委員	<p>2 ページについてですが、飯塚鎮西児童クラブについて、1年生から6年生までの縦割りで4クラスに分かれていると書かれていますが、上下関係でいろいろできるのは良いことだと思います。</p> <p>3 ページの菰田児童クラブについて、集団活動を中心とした教育プログラムということで、プレイズを実施しているようですが、こういった活動はお子さんたちにとって内容が良いと思います。</p>
事務局	<p>児童クラブにおいては、1年から6年までを縦割りでクラス編成する児童クラブもごございます。上級生から下級生が学ぶ、上級生が下級生に教えるといった、普段の学校生活にない社会性を学ぶことができる体験を学べる場になっていると考えます。</p> <p>また、プレイズについては、児童クラブの事業に教育プログラムを取り入れることにより、児童クラブの可能性が広がり、学校および児童クラブの双方にメリットが期待されることから、市の独自事業として全児童クラブで段階的に取り組んでいます。</p>
藤嶋委員	ボランティア活動実績について、幸袋と鎮西は児童数に比べ活動実績が少ないと思います。子どもたちが喜ぶことだと思うので、もっと取り入れてほしいなと思います。
事務局	各児童クラブのプログラムの内容にもよりますが、できるだけボランティアを取り入れた体験学習ができるよう、働きかけたいと思います。
藤江会長	ボランティアされる方が、中心部や居住地の方が多いようで、そういった点も難しい原因かもしれませんね。
萬田委員	遠いところは、自分の住まれる地域の方で声かけしてボランティアに登録いただくよう、働きかけたらよいと思います。
藤江会長	ボランティア登録も教育委員会が所管されていますので、連携して対応できるように考えていただきたいと思います。
久保委員	幸袋と鎮西のボランティア活動が少ないことについては、一貫校になって間がないことも理由の一つかもしれません。今から徐々に指導していただければと思います。

議案2 児童クラブを中心とした放課後児童の支援ビジョンについて	
事務局	<p>平成29年度から、児童クラブの業務が子育て支援課から教育委員会に移管され、各児童クラブで学習プログラムを導入した取り組みが行われています。昨年度「児童クラブを中心とした放課後児童の支援のあり方検討会」を立ち上げ、児童クラブと放課後子ども教室を含めた、放課後で児童に身につけてほしい力など明確なビジョンを検討し、今年3月に策定しましたのでご報告いたします。</p> <p>今年度以降につきましては、策定されましたビジョン、目指すべき支援の方向性に向けて取り組みます。現在まだ模索中ではありますが、放課後児童対策の目標である「生活や遊びなどの様々な経験を通じて生きる力を身に着けた子どもたちを育てる」ため、学校教育と放課後児童対策と併せて取り組みます。</p>
藤江会長	質問、意見はありますか。
萬田委員	<p>日本語が分からない外国の児童についても、これまでの生活環境が違いますので、もっと広い視点にたち、考える必要があると思います。</p> <p>各国の生活態度を理解して、世界的に考えてほしいです。また、障がいのある子への対応も含めて、いろんな立場にたって考えられるといいなと思います。</p>
藤江会長	<p>福岡県が進めている「アンビシャス運動」では、体験的な活動の際、出来栄を気にしすぎて大人が全部お膳立てしてしまい、肝心な子どもがお客のようになってしまっている課題があります。知識だけでなく体験が大事だと考えます。子どもたちに体験させること、その中で、先輩が後輩に伝えていくという姿が今の方向性です。</p> <p>どの学校も団体もアンビシャスに加盟していますが、運動自体が低迷気味で行き詰っていることと、指導者の高齢者も課題となっています。</p> <p>今、こうやって立派なプランができていますので、出来栄だけではなく、中身をしっかりと育てていただけたらと願います。</p>
議案3 放課後児童クラブにおける新型コロナウイルス感染症拡大防止対策について	
事務局	<p>児童クラブにおける対応は、国や県からの通達もあり、学校が休校となった、3月、4月、5月の期間中も、児童クラブは原則「開所」という判断を行いました。先の見えない状況の中、児童クラブ支援員の先生方のご尽力をはじめ、隣接する各小中学校にご協力いただき空き教室の確保や先生方による支援、また、自粛の要請にご協力いただいた保護者の方々等、児童クラブを見守る多くの方々のご協力により、現在に至るまで運営を続けています。</p> <p>また、当初、なかなかマスクを着けたがらなかった児童へのマスク着用徹底や、外で遊ぶときの指導などに取り組みました。児童クラブは学校と異なり、大きな机を共有して使用していますが、この机に仕切り板を手作りするなど、支援員の方々が工夫を凝らして取り組んでいただいています。「三世代ふれあい会」については、コロナ対策を行った中で、規模を縮小し、創意工夫を凝らしながら「ミニ発表会」という形で随時実施しています。</p> <p>このように、児童クラブにおきましては、コロナの対策に取り組みながらも、コロナの中でも継続した集団活動の実施につとめています。</p>
藤江会長	質問、意見はありますか。
萬田委員	感想になりますが、今回のような事態になり、学校でもどうやって対応していくのか心配していましたが、内容を伺い、すばらしいなと思いました。

藤江会長	児童クラブが教育委員会の組織に入って、何か良くなった点などありますか。
事務局	<p>放課後児童クラブが学校教育課の所管になり、4年目になります。学校教育課に移って一番良かった点は、協力体制を築こうとする中で、全く時間がかからなくなりました。トラブルや要請などは課内で一括し、校長会で説明できるため、漏れなく早く無駄なくできます。</p> <p>また、現在、児童クラブと学校で毎月1回の連絡会を行っています。最初は行事報告だけでしたが、現在は、学校と児童クラブで子ども状況を正しく理解し、指導方法についても協議できるようになりました。集団活動やコロナで学校が休校となった場合も、教室の確保や先生方の支援もいただくことができました。</p>
小池委員	<p>コロナで保護者の方が心配されて、5月の連休中に児童クラブに伺い、現況を確認しました。その時、支援員の先生方は「今は学校としっかり連携が取れていますので、いろんなことについて問題があってもすぐ解決できています。」ということでした。状況的に、問題解決が素早くできるということで安心しました。子どもたちも、コロナの中がんばっていらしたので安心しました。</p>
藤江会長	<p>委員の皆さんには、今日だけでなく普段お気づきのことがありましたら、担当にご連絡、報告やお尋ねいただければと思います。</p> <p>お尋ねですが、現在、放送でインフルエンザの接種を呼びかけていますが、職員の方はお済みでしょうか。</p>
事務局	<p>インフルエンザ接種は、当初は高齢者や乳幼児という年齢制限等がありましたので、制限解除後、支援員の先生方には早めに接種いただくよう依頼しています。</p>
藤江会長	<p>それでは、時間になりましたので、これをもちまして本日の会議を終わります。お疲れ様でした。本日はありがとうございました。</p>
会議資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和2年度 飯塚市児童センター等運営委員会次第</li> <li>・児童センター等配置図（資料1）</li> <li>・児童センター等の紹介（資料2）</li> <li>・令和元年度 児童センター等事業実績（資料3）</li> <li>・令和2年度 児童センター等事業計画（資料3）</li> <li>・令和元年度 飯塚市児童センター等外部ボランティア事業報告書（資料4）</li> <li>・令和2年度 飯塚市児童センター等外部ボランティア事業計画書（資料4）</li> <li>・児童センター（児童館）設置状況と利用状況（資料5）</li> <li>・児童センター（児童館）及び児童クラブに係る事業費（資料6）</li> <li>・令和2年度 小学校児童数と児童クラブ入所児童数の比率（資料7）</li> <li>・令和2年度 児童クラブ入所者数（令和2年1月1日現在）（資料8）</li> <li>・児童クラブ活動を柱とした放課後児童の支援ビジョン（資料9）</li> <li>・放課後児童クラブにおける新型コロナウイルス感染症拡大防止対策について（資料10）</li> <li>・飯塚市児童センター等運営委員会委員名簿</li> </ul>
公開・非公開の区分	<p>1 公開      2 一部公開      3 非公開  (傍聴者 0人)</p>
その他	